

東北地方 1か月予報

(6月28日から7月27日までの天候見通し)

平成15年6月27日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北太平洋側では、少なくとも向こう1週間は気温が低い状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

東北日本海側では天気は概ね周期的に変わりますが、東北太平洋側では前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は平年並か低い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並、東北太平洋側は平年並か少ないでしょう。

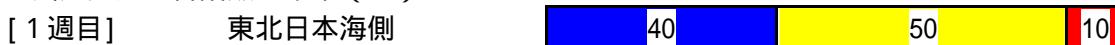
週別の気温は、1週目は東北日本海側は平年並、東北太平洋側は低い、2週目は平年並か低い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 6月28日(土) ~ 7月27日(日)

1週目 : 6月28日(土) ~ 7月4日(金)

2週目 : 7月5日(土) ~ 7月11日(金)

3~4週目 : 7月12日(土) ~ 7月25日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は7月4日

3か月予報:7月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	20.4	173.9	139.4	18.8	19.8	21.2
新庄	21.7	187.4	141.6	20.2	21.1	22.5
若松	22.8	164.9	153.3	21.2	22.2	23.6
深浦	20.7	138.7	170.6	19.0	20.0	21.6
青森	20.5	95.6	170.2	18.7	19.7	21.4
むつ	19.0	118.9	144.6	17.2	18.2	19.8
八戸	19.5	112.9	159.1	17.7	18.8	20.5
秋田	22.2	177.3	162.2	20.5	21.4	23.0
盛岡	21.2	160.4	135.5	19.6	20.5	22.0
宮古	19.3	139.4	137.5	17.5	18.7	20.2
酒田	22.5	185.8	166.0	20.9	21.8	23.4
山形	22.6	145.0	142.2	21.0	22.0	23.4
仙台	21.4	166.7	116.4	19.7	20.7	22.3
石巻	20.8	136.3	135.9	19.1	20.1	21.6
福島	22.9	150.9	121.5	21.2	22.3	23.7
白河	21.4	192.5	117.9	19.8	20.9	22.2
小名浜	21.2	135.1	137.6	19.7	20.6	22.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.5	87~112	92~108
東北日本海側	-0.3~+0.5	83~117	89~107
東北太平洋側	-0.2~+0.6	84~113	91~111

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.8~+0.6	-0.6~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.5	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.8~+0.6	-0.9~+0.7	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年6月27日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(6月28日~7月27日) :

東北日本海側では天気は概ね周期的に変わりますが、東北太平洋側では前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(6月28日~7月4日) :

明日(28日)と明後日(29日)は、低気圧や前線の影響で雨が降るでしょう。その後は東北太平洋側では曇りの日が多いものの、東北日本海側では高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。

平均気温は東北日本海側は平年並、東北太平洋側は低いでしょう。

2週目(7月5日~7月11日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(7月12日~7月25日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

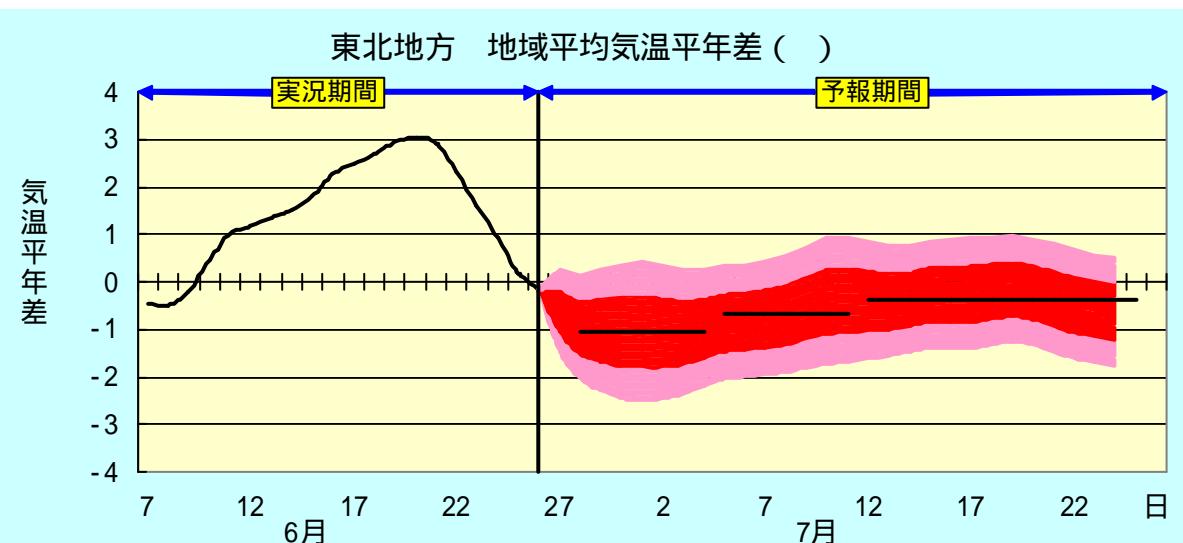
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	12.2日	2.9日	2.6日	6.7日
東北太平洋側	10.4日	2.4日	2.3日	5.7日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「低い」、2週目と3~4週目は「平年並」を予測している。予報は、週間予報資料等から1週目の東北日本海側を「平年並」、2週目を「平年並か低い」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。



* 実況期間(図の左側)の太い実線: 東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)

と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

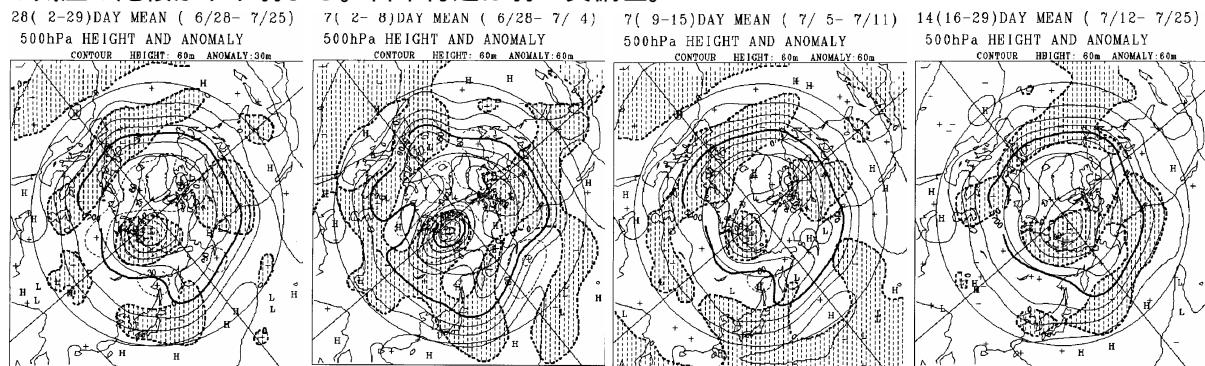
* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、オホーツク海で気圧の尾根が明瞭。日本付近は東西に伸びる負偏差に覆われる。このため、東北太平洋側はオホーツク海高気圧の影響で平年より曇りの日が多い見込み。

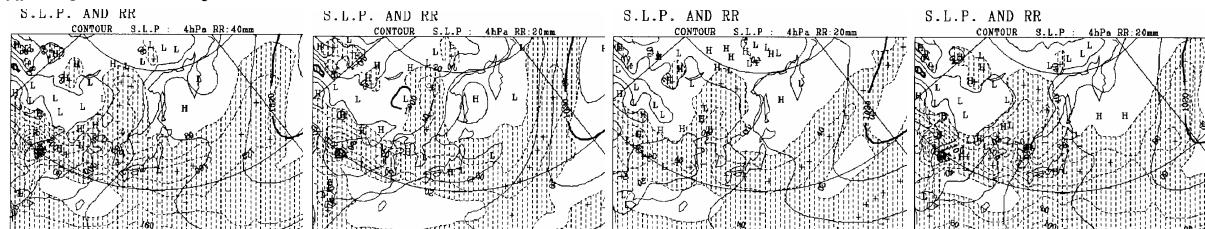
週別に見ると、1週目はオホーツク海の気圧の尾根が明瞭。日本付近は負偏差で東谷傾向。2週目もオホーツク海の気圧の尾根が明瞭。日本付近は負偏差で西谷傾向。3~4週目はオホーツク海の気圧の尾根がやや弱まる。日本付近は弱い負偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、オホーツク海に高圧部、一方、梅雨前線に対応する低圧部が本州上を東西にのび降水域が予想される。

週別に見ると、1週目~2週目はオホーツク海に高圧部が予想される。一方、日本の南岸沿いに低圧部がのびる。3~4週目もオホーツク海に高圧部が予想されるがやや弱まる。本州上には低圧部が予想される。

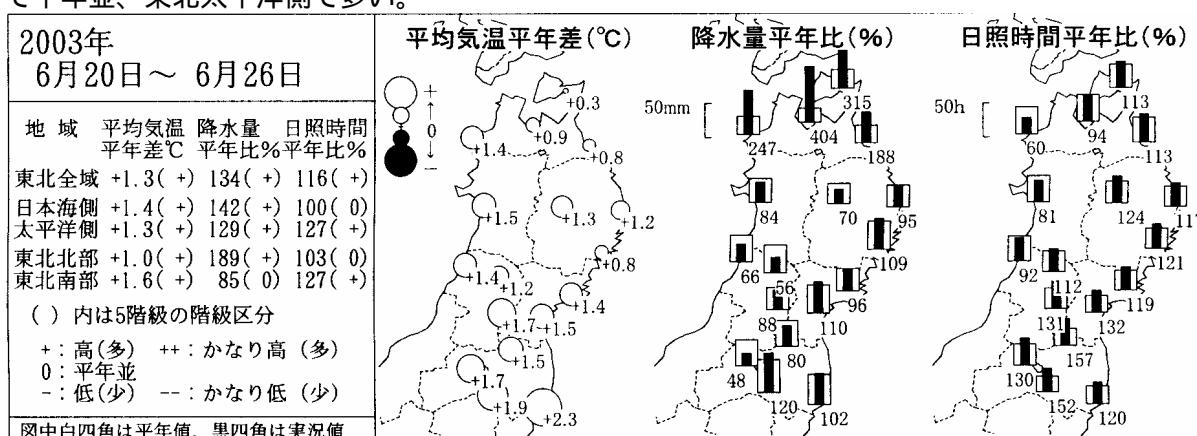


4. 最近1週間（6月20日~6月26日）の天候の経過

20日は台風第6号から変わった低気圧の通過により東北北部を中心に雨となったが、21~23日は移動性高気圧に覆われ晴れて気温も高かった。期間の後半は、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、東北太平洋側では、湿った東よりの風の影響により気温が低かった。

なお、26日に東北太平洋側の低温に関する東北地方気象情報第1号を発表した。

平均気温は高い。降水量は、東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)